

科学研究費助成事業（科学研究費補助金）研究成果報告書

平成 25 年 5 月 28 日現在

機関番号：14301
 研究種目：基盤研究（C）
 研究期間：2010～2012
 課題番号：22520061
 研究課題名（和文） 社会科学との関連におけるキリスト教自然神学の再構築—環境論と経済学を焦点として—
 研究課題名（英文） A Reconstruction of Christian Natural Theology in the Context of its Relationship to the Social Sciences: Focusing on Ecology and Economics
 研究代表者
 芦名 定道（ASHINA SADAMICHI）
 京都大学・大学院文学研究科・教授
 研究者番号：20201890

研究成果の概要（和文）：

本研究は、キリスト教思想（神学）と諸科学との間の相互関係を可能にする自然神学を、現代の自然科学はもちろん、社会科学や人文科学をも視野に入れることによって再構築するという基本的な構想にもとづいて進められた。これは神学と諸科学との間のコミュニケーションの確立に関わる問題設定であり、本研究は聖書と聖書解釈を出発点とすることによって、自然神学の観点から環境論と経済論とを一つの連関に結びつけた議論が可能になった。

研究成果の概要（英文）：

This study is premised upon the basic idea that the inclusion of modern physical science, social science and the combined disciplines of Letters and Human Science in the reconstruction of Natural Theology--which itself is made possible by the mutualities between Christian thought (Theology) and various sciences--has allowed for a more thorough and complete discourse on the subject. The issue under consideration, therefore, is the establishment of interdisciplinary communication, specifically between Theology and the various sciences. This research project proceeds from a consideration of the bible and its interpretation--biblical exegesis, and then tries to make clear the interconnectedness of ecology and economics from the perspective of the bible and from that of Natural Theology.

交付決定額

(金額単位：円)

	直接経費	間接経費	合計
2010年度	1,100,000	330,000	1,430,000
2011年度	900,000	270,000	1,170,000
2012年度	600,000	180,000	780,000
年度			
年度			
総計	2,600,000	780,000	3,380,000

研究分野：人文学

科研費の分科・細目：哲学・宗教学

キーワード：キリスト教、自然神学、聖書学、環境論、経済学

1. 研究開始当初の背景
 現代のキリスト教思想における世界的動向

を概観するとき、その中心問題として、次の二つのテーマを挙げるができる。

キリスト教と自然科学（科学技術、近代的合理性）。キリスト教と多元的社会における公正・正義。

現代のキリスト教思想をリードする思想家たちは、それぞれの思想的立場は様々であるものの、ほとんど例外なく、これらの諸問題を意識することによって、その思索を進めている。しかも、国内と海外を問わず、これら二つの問題は相互に無関係に位置づけ得るものではなく、むしろ緊密な結びつきにおいて考察されねばならないことが、研究者の共通認識となりつつある。現代の科学技術の問題が社会的正義の問いと無関係であり得ないことは、環境と経済が分離不可能な問題群を構成していることから、明らかである。本研究の問題設定は、現代キリスト教思想——もちろん、現代キリスト教思想だけではないが——が直面するこの問題状況に対して、伝統的な自然神学を社会科学との関わりにおいて再構築することによってアプローチすることを目指している。

2. 研究の目的

現代の思想的状況において、キリスト教思想はきわめて多様な展開を示している。本研究は、こうした動向を視野に入れつつ、社会科学（とくに、経済学と政治学）との関連で自然神学を再構築することを目的とする。自然神学は、古代以来、それぞれの時代における知的状況に即応しつつ、キリスト教思想と他の諸思想（諸科学）との創造的な関わり合いのために必要な理論的基盤（宗教哲学）の構築を担ってきた。本研究は、この自然神学の営みを現代の思想状況において継続的に発展させるとともに、環境と経済をめぐる現代の深刻な危機的状況に対して、宗教・キリスト教が蓄積してきた伝統的な知恵を、有意義な仕方でも再提示することを意図している。

3. 研究の方法

本研究は、文献資料を中心とした様々な資料の読解・分析を基礎にして進められる。そのために、文献資料を計画的かつ系統的に購入することが必要になる。しかしこれだけでは十分ではなく、不足するものは、国内外で行われる資料収集によって補わねばならない。本研究計画では、このような文献資料による基礎的研究を基盤としつつも、それを補強するものとして、研究代表者が所属する研究会（現代キリスト教思想研究会）や学会（宗教倫理学会など）における共同研究を実施した。また同時に、国内外の研究者との交流を通じた研究の進展が計られた。国外で実施された研究交流・研究調査は以下の通りである。平成22年度～23年度には、外国人共同研究者として京都大学のわたくしの研究室に来日した韓国の研究者と東アジアにおける関連思想の研究状況について集中的に討論を行い、そして23年度と24年度は、アメリカの研究者との共同研究の実施に向けた準備と討論を行った。また、22年度、24年度は韓国ソウルでキリスト教関係諸団体における環境論との取り組みについて、フィールド調査を実施した。

4. 研究成果

(1)自然神学の再構築の基礎論としての聖書解釈。本研究ではその出発点を聖書と聖書解釈においた。それは、次の二つの理由に基づいている。まず、聖書はきわめて多様に展開されてきたキリスト教思想の基盤に位置するものであり、キリスト教思想の基点あるいは土台はここに求めることができる。次に、自然神学の古典的で規範的な事例と言える、西洋キリスト教の歴史的な文脈における自然神学がまさに聖書（特に創造論）を基盤として構築されており、自然神学を再構築する場合にも、聖書に帰ることが適切な方法である

と考えられる。

(2)日本（東アジア）における自然神学の基礎論となる宗教哲学とその韓国での動向。本研究では、自然神学を現代の文脈で再構築するにあたり、日本を含む東アジアのキリスト教思想の動向を参照するという方法がとられた。現代の韓国キリスト教思想において、本研究と密接に関わる研究動向が確認され、今後、東アジアにおいて自然神学の再構築を論じるための道筋が明らかにされた。

(3)聖書的思考（聖書の思想）に基づく環境論と経済論の統合。聖書あるいは聖書解釈が本研究の基点となることはすでに確認した通りであるが、聖書から自然神学の再構築をどのように遂行するかについては、個々の問題に即した議論が必要になる。特に、重要な成果として強調したいのは、聖書と自然神学という観点から見ることによって、環境論と経済論とが一つの連関に結びつけて議論が可能になるという点である。しかも、これは創造、契約、終末という聖書の思想基盤に依拠した議論であり、聖書から再構築された自然神学の内実として提示するに相応しいものである。

5. 主な発表論文等

（研究代表者、研究分担者及び連携研究者には下線）

〔雑誌論文〕（計8件）

1. 芦名定道、「波多野宗教哲学における死の問題」、京都大学キリスト教学研究室『キリスト教学研究室紀要』第1号、査読なし、2013. 1-17
<http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/handle/2433/173566>
2. 芦名定道、「キリスト教と近代社会の諸問題」、現代キリスト教思想研究会『キリスト教と近代社会』、査読なし、2011、3-23、
<http://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/handle/2433/155074>

〔学会発表〕（計4件）

1. 芦名定道、「宗教的実在論と象徴—波多野とティリッヒー」、日本宗教学会・第70回

- 学術大会、2011年9月4日、関西学院大学
2. 芦名定道、「波多野宗教哲学とその方法論の展開」、京都大学基督教学会・第4回研究発表会、2010年7月17日、京都大学

〔図書〕（計0件）

〔産業財産権〕

○出願状況（計0件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
出願年月日：
国内外の別：

○取得状況（計0件）

名称：
発明者：
権利者：
種類：
番号：
取得年月日：
国内外の別：

〔その他〕

ホームページ等

<http://logosoffice.blog90.fc2.com/>

6. 研究組織

(1) 研究代表者

芦名 定道 (ASHINA SADAMICHI)
京都大学・大学院文学研究科・教授
研究者番号：20201890

(2) 研究分担者

()

研究者番号：

(3) 連携研究者

()

研究者番号：